

東京体育学会

とうきょう

2024.3.22

No.3

会報

東京体育学会第 15 回大会が開催されました

日 時 : 2024 年 3 月 11 日 (月) 13:00~17:30
場 所 : 日本女子体育大学 学園創立百周年記念館
参加者 : 86 名



【もくじ】

- ・東京体育学会第 15 回大会報告 (1)
- ・令和 5 年度総会次第 (9)
- ・新入会員 (9)

東京体育学会第15回大会報告

大会プログラム

12:00~13:00 受付開始・ポスター掲示

13:00~13:10 開会式

13:10~14:50 シンポジウム：海外へ発信する日本のスポーツ産業

13:10~13:15 趣旨説明・シンポジスト紹介

13:15~13:30 柿澤 雄二 氏（スポーツ庁 参事官（国際担当））

13:30~13:45 水鳥 寿思 氏（慶應義塾大学／株式会社 MIZUTORI 代表取締役／
（公財）日本体操協会男子強化本部長）

13:45~14:00 池田 圭吾 氏（株式会社川崎フロンターレ 営業統括部
パートナーリレーション部（海外担当） マネージャー）

14:00~14:15 石塚 大輔 氏（スポーツデータバンク株式会社 代表取締役）

14:15~14:30 阿部 篤志 氏（独立行政法人日本スポーツ振興センター 総合企画部 主幹）

14:30~14:50 総合議論

15:00~16:00 一般研究発表 概要説明（2分間の口頭発表）

16:10~16:50 一般研究発表 ポスター発表（責任着座制）

17:00~17:30 総会、表彰式、閉会式

**東京体育学会
第15回大会**

海外へ発信する日本のスポーツ産業

2024
3.11/月
13:00
▶ 17:30

会場：日本女子体育大学
学校創立百周年記念館

13:00~13:10 開会式
13:10~14:50 シンポジウム：海外へ発信する日本のスポーツ産業
15:00~16:00 一般研究発表 概要説明（2分間の口頭発表）
16:10~16:50 一般研究発表 ポスター発表（責任着座制）
17:00~17:30 総会、表彰式、閉会式

【総合司会】 船渡和男（国士館大学）、水上博司（日本大学）
【シンポジスト】
○柿澤 雄二 氏（スポーツ庁参事官(国際担当)）
○水鳥 寿思 氏（慶應義塾大学准教授／株式会社MIZUTORI代表取締役／
（公財）日本体操協会男子強化本部長）
○池田 圭吾 氏（株式会社川崎フロンターレ 営業統括部
パートナーリレーション部（海外担当） マネージャー）
○石塚 大輔 氏（スポーツデータバンク株式会社 代表取締役）
○阿部 篤志 氏（日本スポーツ振興センター 総合企画部主幹）

主催：東京体育学会 会長：船渡和男 理事長：田中 重勝

シンポジウム：海外へ発信する日本のスポーツ産業

趣旨説明

2023 年 9 月 1 日、日本と東南アジア諸国連合 (ASEAN) の第 4 回スポーツ大臣会合がタイ・チェンマイで開催され、2030 年を目標とした「チェンマイ宣言」が採択された。時と場所を同じくして、8 月 31 日と 9 月 1 日の 2 日間、日本 ASEAN 友好協力 50 周年の記念事業のひとつとして「ASEAN-JAPAN Sports Showcase2023」が開催された。

この背景の一つには、スポーツ庁がスポーツ産業の国際展開を促進するプラットフォーム「Japan Sports Business Initiative」通称 JSPIN (ジェイスピン) (<https://jspin.mext.go.jp/>) を 2021 年に立ち上げ、国内のスポーツ産業の海外展開の支援を、情報共有やネットワーキングの側面から支えてきたことがある。

「ASEAN-JAPAN Sports Showcase2023」では、日本と ASEAN が、世界に誇るスポーツ産業の製品やサービス・取組をアピールすることを目的とした。日本からも JSPIN 事務局からの呼びかけに応じた 18 の企業・団体の出展が決定した。本シンポジウムではその中から、来場者たちから注目された日本企業・団体にお声掛けし、東京体育学会第 15 回大会シンポジストとしてご講演を依頼した。

東京体育学会会長 船渡 和男

総合司会・進行: 船渡 和男 (国士舘大学)、
水上博司 (日本大学)



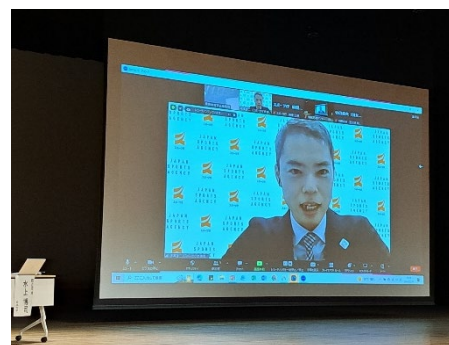
シンポジスト

○柿澤 雄二 氏 (スポーツ庁 参事官 (国際担当))

スポーツ庁参事官 (国際担当) として、国際的なスポーツ大会やドーピング防止活動、国際交流・協力等を担当。2001 年文部科学省入省。文化庁、スポーツ庁のほか、文部科学副大臣秘書官等を歴任。2023 年 10 月より現職。

テーマ: スポーツ産業の国際展開の促進について

講演内容: スポーツ庁では、2025 年までにスポーツ市場規模を 15 兆円に拡大することを目指し、スポーツ産業の成長産業化を推進している。日本だけでなく、世界のスポーツ市場も拡大が予想される状況を好機ととらえ、「スポーツ産業の国際展開促進事業」において、日本のスポーツ産業の国際展開を促進するプラットフォーム「JSPIN (Japan Sports Business Initiative)」を立ち上げた。オンラインサイトやネットワーキングカンファレンスの場を活用した情報提供や、国際展示会への出展支援などを行っている。



○水鳥 寿思 氏 (慶應義塾大学／株式会社 MIZUTORI 代表取締役／
(公財)日本体操協会男子強化本部長)

日本体育大学博士後期課程修了。また体操競技者として 2004 年アテネ五輪に出場し、体操男子団体総合において金メダルを獲得。それらキャリアを生かし、運動学習の質向上に寄与するため ICT 教材「スポテク」を開発し、日本のみならず海外に向け発信を続けている。



テーマ:ICT 教材を活用した効果的な運動学習に関する取り組みの検討

講演内容:身体活動の効果的なスキルの習得及び利用者の思考力の向上を目的として、「スポテク」という ICT 教材を開発し、これまで全国の小学校において実験授業を行ってきた。その成果として、運動が楽しくなった、運動のコツを言ったり書いたりすることができる生徒が増加傾向にあった。また、反転授業としても有効に活用できる可能性がある。今後は学校の器械運動の授業のみならず、水泳や陸上など種目の拡大や授業以外での活用の場を広げる取り組みも行っていく。

○池田 圭吾 氏 (株式会社川崎フロンターレ 営業統括部
パートナーリレーション部(海外担当) マネージャー)

2009 年川崎フロンターレ入社。フットサル事業部、事業推進部、営業部などを経て、それまで兼務として担当していた海外事業の専任となる。現地での活動(アカデミー遠征、サッカークリニック等)時のプランニング及び協賛営業、指導者派遣プログラムでの現地クラブとのやりとり等に従事。



テーマ:プロサッカークラブによる海外事業展開

講演内容:川崎フロンターレでは、2013 年にベトナムのビンズン省で行われた国際親善試合にてトップチームがベトナム遠征を行って以来、ベトナム現地での子どもたち向けのサッカークリニック、ベトナムのサッカークラブへの指導者派遣、育成年代の国際大会を企画・運営するなど、サッカーを通じた交流を継続して行っている。

2021 年 12 月には、日本人コーチ 2 名が駐在、ビンズン省にてサッカースクールを開校。本講演では現地の様子や事業展開の狙いを紹介する。

○石塚 大輔 氏 (スポーツデータバンク株式会社 代表取締役)

スポーツ庁、経済産業省等の委員会へ有識者として参画し、学校部活動の地域移行を契機とした新たな地域スポーツの環境に関する事業設計、多産業との連携によるスポーツを通じたまちづくりの戦略策定に従事。



テーマ: 日本型部活動の海外輸出による地域スポーツの展開

講演内容: 昨今、地域課題と言われる中学校における学校部活動の地域移行を 2017 年より地域スポーツ環境の再整備として捉え、まちづくりの一環として制度設計等を自治体との連携により実施している。更には 2019 年頃より日本の部活動を【BukatsuDo】として地域発、海外への展開をスタートする。地域のスポーツ指導者が地域 PR と共に台湾、タイ現地の中学校と連携して実施し、海外におけるスポーツ環境の充実に貢献する事業を目指して活動している。

○阿部 篤志 氏 (独立行政法人日本スポーツ振興センター 総合企画部 主幹)

独立行政法人日本スポーツ振興センター (JSC) 総合企画部主幹。
スポーツ庁委託事業「ポストスポーツ・フォー・トゥモロー推進事業」を受託し、コンソーシアム事務局を含む本事業の管理・運営を担当している。



テーマ: スポーツを通じた国際交流・協力「スポーツ・フォー・トゥモロー」

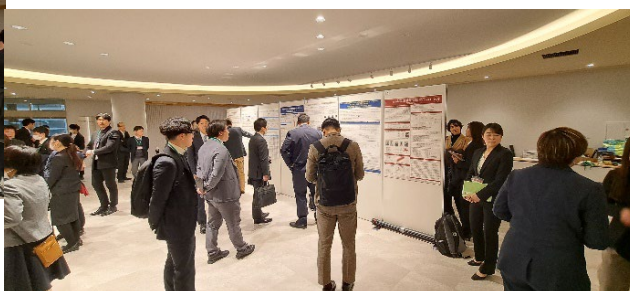
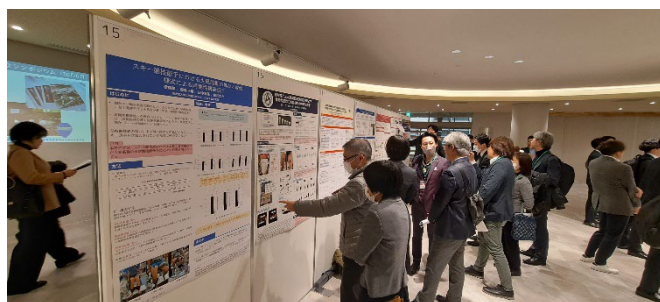
講演内容: 「スポーツ・フォー・トゥモロー」(SFT) は、日本国政府が推進するスポーツを通じた国際交流・協力事業である。SFT では官民協働のコンソーシアムを形成し、参加団体間の連携や共創を通じて各国のニーズ・課題に対応した取組が行われている。
本講演では、日 ASEAN スポーツ大臣会合で合意された協力枠組みにおいて SFT で実施した取組事例を通して、日本のプログラムに対する ASEAN 諸国の受け止めや今後に向けて求められるものについて共有する。



一般研究発表一覧

演題番号	氏名	所属	演題名
1	伊藤奈々	日本女子体育大学大学院	学校組織風土が保健体育科女性教員のキャリア形成に及ぼす影響
2	中村美穂	東京学芸大学教職大学院	中学校保健体育授業におけるいじめの実態に関する研究 ーいじめが発生する要因に着目してー
3	谷本晃輝	日本大学大学院	運動部活動における教育的配慮の検討： 運動部活動の教育的配慮の地域移行は不可能か
4	小川由活	国土館大学大学院 スポーツ・システム研究科	小学校低学年におけるネット型ゲームに発展するボールゲームの授業 づくりに関する研究 ーテニスを基にした易しいゲームへの系統性に着目してー
5	中林由紀子	東京学芸大学大学院 ／本庄市立本庄東小学校	運動感覚の養われ方をパフォーマンスと理解度の両側面から分析して 指導法を探る ー小学4年生における跳び箱運動の授業を通してー
6	内野真太郎	国土館大学大学院	水泳運動領域におけるICTを活用した授業づくりに関する研究 ー小学校高学年を対象とした水泳ドリル教材の開発を通してー
7	豊田郁豪	東京学芸大学大学院 連合学校教育学研究科	骨盤を覆う形状の浮き具を用いた中学校水泳授業の効果： 課題解決型の水泳授業開発を目指して
8	荻原謙太	日本大学大学院	競泳 日本学生選手権における団体順位の傾向 ～1位・3位・8位による比較～
9	野口智博	日本大学文理学部	海外で成果を挙げた一流コーチのコーチング ～異なる文脈にどのように対応したか？～
10	今野亮	明治薬科大学	大学生の体力と特性的自己効力感、及び主観的健康感との関連
11	近松俊弥	国土館大学大学院	大学陸上競技における混成選手の体力的特性
12	宮内育大	日本大学	陸上競技投てき種目におけるベンチプレスを用いた新たな評価指標作 成の試み
13	藤戸靖則	国土館大学大学院 スポーツ・システム研究科	レスリング競技能力の違いからみた高強度間欠的全力ペダリング中の 仕事量および生理学的応答の特徴
14	松井咲樹	日本女子体育大学 大学院	自重負荷を用いた高強度間欠的トレーニングが成人女性の最大酸素摂 取量および最大無酸素性パワーに及ぼす影響
15	侯鈞譚	国土館大学大学院	スキー競技選手における大腿筋群の異なる収縮様式による両側性功能 低下

演題番号	氏名	所属	演題名
16	新井千江	国土館大学大学院	綿包帯による膝関節固定が筋力および膝伸展筋群の活動様相に及ぼす影響
17	船木彩夏	株式会社セプテム 総研	高域変調多重複合波による骨格筋電気刺激は、中高齢者の骨格筋や認知機能等を向上させるか
18	古田なつみ	国土館大学大学院	成人女性におけるMRI法による体分節パラメーターと身体組成の推定
19	山城友理恵	日本女子体育大学 大学院	クラシックバレエ、モダンダンス、ヒップホップダンスの熟練ダンサーにおける下肢および体幹の関節可動域の特異性
20	尹鉉喆	国土館大学大学院	スライド式ローイングエルゴメーターを用いたエリートボート選手におけるキネマティクスとキネティクスの特徴
21	平野智也	国土館大学大学院	反動動作の制限がバックスクワット運動におけるスティッキング領域の出現と下肢関節キネティクスに及ぼす影響
22	田邊凱聖	国土館大学大学院	ソフトボール選手における異なる球速に対する打撃動作の特徴
23	山本智貴	国土館大学大学院 スポーツ・システム 研究科	日本一級級の棒高跳び選手における助走速度と離地速度の特徴
24	増田実姫	東京大学教養学部	回転ジャンプにおける回転角度制限要因の解明
25	村上耕平	国土館大学大学院	大学生女子バレーボール選手におけるジャンプフローターサーブの運動学的特性
26	木内聖	国土館大学大学院	ランニング中の足底荷重分布および足部内側縦アーチの変化
27	有働晃太	東京学芸大学大学 院	体操競技・器械運動領域における動作のOpenPoseを用いた二次元動作分析の精度検証に関する基礎研究



東京体育学賞、東京体育学奨励賞 受賞者

【東京体育学賞】

該当者なし

【東京体育学奨励賞】

- 新井千江（国士舘大学大学院）

演題番号：16

演題タイトル：綿包帯による膝関節固定が筋力および膝伸展筋群の活動様相に及ぼす影響

- 中林由紀子（東京学芸大学大学院、本庄市立本庄東小学校）

演題番号：5

演題タイトル：運動感覚の養われ方をパフォーマンスと理解度の両側面から分析して指導法を探る

—小学4年生における跳び箱運動の授業を通して—

- 松井咲樹（日本女子体育大学大学院）

演題番号：14

演題タイトル：自重負荷を用いた高強度間欠的トレーニングが成人女性の最大酸素摂取量および最大無酸素性パワーに及ぼす影響



左から、船渡和男会長、新井千江さん、中林由紀子さん、松井咲樹さん

令和 5 年度 総会次第

1. 会長挨拶
2. 議長選出
3. 議題

報告事項

- (i) 令和 5 年度事業中間報告について
- (ii) 令和 5 年度中間会計報告について
- (iii) 若手研究助成について
- (iv) その他

審議事項

- (i) 令和 4 年度事業報告について
- (ii) 令和 4 年度会計報告について
- (iii) 令和 6 年度事業計画案について
- (iv) 令和 6 年度予算案について
- (v) 選挙管理委員会の設置について
- (vi) その他

4. 理事長挨拶

新入会員

(令和 5 年 3 月 23 日～令和 6 年 3 月 4 日)

計 46 名

会員 1,216 名 (令和 6 年 3 月 4 日現在)

(文責：東京体育学会幹事 赤澤祐美、平野智也)

会報「とうきょう」2023 年度 第 3 号

発行日：2024 年 3 月 22 日 編集：広報委員会

発行人：東京体育学会 会長 船渡和男

〒206-8515 東京都多摩市永山 7-3-1

国土舘大学大学院スポーツ・システム研究科 助手室 東京体育学会事務局

e-mail:tokyotai@kokushikan.ac.jp